

教育羅針盤 ◆ 経倫祭を終えて…

〈調査日 11/20～22 回答率 97.6%〉

質問事項			経倫祭で最も楽しかった事は何か？ (2つまで回答可)					
			A	B	C	D	E	F
回答者 (人)			お楽しみ市	作品展示	ステージ発表	うまいもん市	わくわく広場	※その他 親がいた等
学年	在籍	回答						
1年	32	32	4	0	4	10	13	1
2年	40	40	16	0	24	8	17	15
3年	36	35	11	0	15	14	25	0
4年	47	46	12	0	22	16	32	0
5年	42	41	18	4	14	19	22	0
6年	45	43	4	0	37	8	35	0
特支	5	4	3	0	2	0	3	0
全校	247	241	68	4	118	75	147	16
回答数に対する割合 (%)			28.2	1.7	49.0	31.1	61.0	6.6
			※分母241名(回答人数)…2つ選択の児童多数					

左のように尋ねてみました。ほぼ予測出来た結果ですが、子どもたちにとって価値ある経倫祭になったのではないかと考えられます。

特活事始め

◆ 学級活動について(7)

前回お知らせしたように「教育課程研究集会」を終えて成果も確認できました。本校の研究対象としているところは、これまでにご紹介してきた学級活動の「内容(1)学級や学校の生活づくり」の部分ですが、次回から「内容(2)日常生活や学習への適応及び健康安全」のことに触れてみます。

◆ 充実の経倫祭 11/18

ご協力ありがとうございました。



◆ 新採研究授業 11/20



社会保障制度改革国民会議が今日から発足したらしい。衆院選の告示も間もなくであるが政党乱立で選択に困る。賢い有権者にならねば…とは思ふ。政治家も大衆迎合に陥ることなく、未来を見据えた政策のためには痛みを伴う辛い要請等も恐れずに表明する御大であってほしい…。

さて、私たちは教育に携わる身。時には子どもたちに、場合によっては保護者に耳の痛いことも伝えねばならない。これも宿命か？未来ある子どものために大切にすべきことは何かを保護者の方々と共に考えていきたい。(土)